
不可侵の願い

楼華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不可侵の願い

【Nコード】

N2527I

【作者名】

楼華

【あらすじ】

平和な、平和なとある国のお姫様と、基本無言な年下魔法使い。二人が紡ぎだす、筈の恋愛ファンタジー。

プロローグ

体が軽くて、どこか意識が朦朧として現実では有り得ないような空間だった。

風もないのになびく髪、短い黒色の髪が揺れる。彼女は鬱陶しそうに片手で払う。

「どこよ、ここ」

彼女 レストリアが静かに呟く。

軽装でありながらも、所々に散りばめられた装飾が、彼女の家柄の良さをかもし出す。

現に彼女は一国の姫君、それを考えればこんな地に一人で居る訳がない筈なのだが。

周りの木々が風によって踊らされているのかざわめく。

本当は風なんてないのに。

城や街から少し離れたところにある小さな森、それを超えた麓に悪魔が存在する、そんな噂を聞いた彼女は自ら調査に名乗り出た。

王女という立場ではあるが、既に彼女は18歳、王位の継承は彼女の兄がする。

そんな状況であった時、彼女のやるべきことは多くはない。だからこそ名乗り出たのだ。

しかし、街から一步踏み出せば、凶暴化した生物 魔物が襲い掛かってくることもある。

それに対する護身術を習っているとは言え、やはり彼女の立場は大きい大きすぎる、そして両親の、兄の心配も大きかった。

だが彼女は譲らなかつた。

譲ってはいけない、そんな想いが、彼女も分からないうちに心を占めていた。

山へ足を踏み入れて半刻程歩くと、今居る奇妙な空間にたどり着いた、現実であって現実で無いような、此処であって此処でないような、不思議な想いがよぎる空間。

「悪魔なんていないじゃない」

悪魔、その定義は分からない。誰が言い出したのが、何故そんな噂が流れたのか、誰にも分からない。

もう、街に戻ろうかと振り返ったとき異変は起きた。

強大な殺気。怒気。感覚だとかそういう類のものに優れているわけでもない彼女にも分かるほど強大なもの。

やがて、天が落ちたかのような轟音、雄叫びをあげ、近づいてくる。反射的に剣を鞘から抜く。

木々の間を駆け抜け、枝をへし折る獣、魔物。姿が見えたときは既に遅かった。

「ッ!？」

巨大な爪が頬を掠める。

彼女の数倍はあろう巨体、に巨大な爪、牙。見た目からもその速さからも勝てる気はしなかった。

「悪魔っ!？」

そんな筈はない。これは悪魔というよりは、巨大な魔物。そんな考

えが彼女の頭をよぎる。
第一こんな魔物に出会った一般人が生きて帰ってこれるとは到底思えなかった。

そう、悪魔と呼ばれるものなら、もつと形は人に近い筈。
そうもつと強大な魔力、みたいなものを感じるんじゃないか。
そうもつと強大で、漆黒の…暗闇のような…

『黒』が彼女の横を通り抜けた。

「嘆き、苦しみを」

小さく呟かれた『それ』はしっかりと彼女の耳を届いた。

影が巨大な魔物の体を包み込み、収縮する。
骨が折れる音がする、肉が裂ける音がする、声にならない叫びが聞こえる。

視覚として捉えられなくても、聴覚としてはきつちりと捉えていた。
意識が暗転する、気持ち悪さと共に。
最後に見たのは、黒い黒い、どこまでも黒い、黒、だった。

「!？」

微かな頭痛と共に、意識が覚醒する。

飛び起きて、周りを見渡すと木で作られた小さな家、どうやら自分が居る部屋以外は無さそうで、ベッドが一つ。もっともそのベッドに彼女は寝ていたのだが。

床には一人、少年が。

意識が途切れる前に、かすかに見えた者だった。

「あ、くま…？」

「…心外」

小さく呟けば、少年はぱつちりと目を開けた。

華奢な体付き、大きめの目、整った顔、透き通るような白い肌、美少女と形容するように相応しい『少年』。

格好から察するにそうなのだろう。肌とは全く違う黒い服装、まるで全身を覆い隠すような。

「ルティナ、人間」

ルティナ、それが彼の名前だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2527i/>

不可侵の願い

2010年10月9日22時17分発行